

のみだより

2008

第16号



手から手へ…（のみっ子フェスタ☆2008）

● 定例会報告	2
● 一般質問	3
● 委員会報告	7
● 討論	8

発行日：平成20年7月29日

発 行：能美市議会

編 集：広報特別委員会

〒923-1297 能美市役所辰口庁舎

石川県能美市来丸町1110番地

TEL：(0761) 52-8007

FAX：(0761) 52-8022

E-mail：gikai@city.nomi.lg.jp

第2回定例会では、議会議案 1 件を含む 7 議案と 12 件の報告案件を可決、承認しました。

また、全国市議会議長会総会（5月28日東京にて開催）において、長年にわたり地方自治に功労があったとして同議長会表彰規程に基づき 7 人の議員が表彰され、定例会初日に議長より表彰伝達がありました。

表彰されたのは以下の方々です。

議員在職15年以上 青山 利明、明福 憲一
10年以上 杉田 隆一、金森 修栄、北角 耕一、荒田 正信、高木 雅宣

審査結果一覧

	案 件 名	採決結果 (※1)	付託 委員会 (※2)	委員会における 採決結果 (※1)
議 案 (6件)	能美市監査委員条例の一部を改正する条例について	◎	総	◎
	能美市テレビジョン共同受信施設条例の一部を改正する条例について	◎	教	◎
	能美市図書等自動販売機の適正な設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	◎	教	◎
	能美市体育施設条例の一部を改正する条例について	◎	教	◎
	石川県市町村職員退職手当組合規約の変更について	◎	総	◎
	平成20年度能美市一般会計補正予算（第1号）	◎	総 教	◎
報告案件 (12件)	専決処分の報告について（能美市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて）	○	総	◎
	専決処分の報告について（能美市農村地域における工業等の導入を促進するための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて）	○	産	◎
	専決処分の報告について（能美市中部圏の都市開発区域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて）	○	産	◎
	専決処分の報告について（能美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて）	○	教	○
	専決処分の報告について（能美市病院事業の設置等に関する条例及び能美市介護老人保健施設条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて）	◎	教	◎
	専決処分の報告について（平成19年度能美市一般会計補正予算（第4号））	◎	総 産 教	◎
	専決処分の報告について（平成19年度能美市国民健康保険特別会計補正予算（第4号））	◎	教	◎
	専決処分の報告について（平成19年度能美市介護保険特別会計補正予算（第3号））	◎	教	◎
	専決処分の報告について（平成19年度能美市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号））	◎	産	◎
	専決処分の報告について（平成19年度能美市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号））	◎	産	◎
	専決処分の報告について（平成19年度国民健康保険能美市立病院事業会計補正予算（第3号））	◎	教	◎
	専決処分の報告について（平成20年度能美市老人保健特別会計補正予算（第1号））	◎	教	◎
請 願 (1件)	後期高齢者医療制度の中止・撤回の意見書を国に提出することを求める請願	不採択	教	不採択
議会議案 (1件)	地球温暖化防止に向けた国民的運動の推進を求める意見書	◎		
諮 問 (1件)	人権擁護委員の推薦について（中嶋 紀子氏）	◎（答申）		

※1 採決の結果（◎：全会一致で可決（承認）されたもの、○：賛成多数で可決（承認）されたもの）

※2 総：総務常任委員会、産：産業建設常任委員会、教：教育民生常任委員会

倉元 正順
議員



Q 防災無線統一の現状は

防災行政無線のシステム統一とデジタル化の進捗状況は。
また、集合住宅への戸別受信機

A 防衛省の事業採択を受け、整備を進めたい（環境安全部長）

統一には総事業費10億円を超える見込みであり、市の単独費では難しい。防衛省の民生安定事業としての採択を要望中であり、陳情もしていきたい。

集合住宅への戸別受信機設置は、地域コミュニティの一体性や連帯感の希薄化が顕在化しており、難しい問題ではあるが、集合

住宅のオーナーへの設置依頼を検討したい。

Q 地区防災組織の充実を

市内の自主防災組織や自衛消防団の設置状況とその支援体制は。

A 出前講座等により育成に努めたい（環境安全部長）

自主防災組織は11町内会で、自衛消防団は58町内会で結成されている。

地域で防災活動を指導する防災士の養成や、災害要援護者を地域で見守る地域福祉委員会の立ち上げにより、地域防災組織の育成に努めたい。



▲地域を守るために

青山 利明
議員



Q 学校耐震補強工事100%達成を早急に

国の補助金アップにより前倒しで実施せよ。

A 3年間で100%にする（市長）

小中学校施設全体の耐震化率は現在73・8%。3年間をめどに進める。保育園は統廃合による整備の中で総合的に検討するが、窓の補強やテレビ転倒防止などは早急に対応したい。

Q ふるさと納税の使途を示せ

A 元気なまちづくり事業に活用（市長）

ふるさとを応援してくださる方からの寄付金を児童館や放課後スポーツクラブの充実、健康づくり、里山の保全と活用等に生かす。「能美市応援団」として交流を促進したい。

Q 九谷焼など海外観光客に売り込め

小松台北定期便を機に創意工夫で誘客せよ。九谷焼、丸いもなど能美市発世界ブランドとせよ。

A 滞在型観光めざす（市長）

海外観光客誘致を重点施策に掲げ、韓国語や中国語などの案内看板の設置、デビットカードへの対応を検討する。



▲能美市発世界ブランドに（海外での九谷焼絵付実演）

北村 國博 議員



Q 能美検定を実施せよ

市の魅力を再発見し愛着心を育むための「能美検定」実施や公式ガイドブック「のみ百科」作成の具体的な中身について問う。

A ふるさとを愛する独自の仕掛けづくりを（市長）

能美検定の内容等は今後検討していく。のみ百科は2月に発行した「能美ものがたり」や先進地の例を参考に市民と行政の協働による独自のものを目指したい。

Q 観光ボランティアガイドを養成せよ

能美市を訪れる方々に温泉・九

谷焼・古墳・里山等の魅力を紹介するボランティアガイドの養成を。

A 魅力発信に有効な手段である（市長）

ボランティアガイド養成は有効手段であり実現したい。市観光協会や商工会との連携協力も必要だと考えている。

Q 伝統芸能保存・承継の支援策を示せ

A 地元の協力を得ながら検討（市長）

保存会・地区公民館等の理解や協力のもと、次世代を担う子どもたちが体験できる機会の提供や伝承者の養成をお願いし、映像記録

作成等の文化再興の支援策を検討したい。



▲地域の文化を伝えよう（粟生町獅子舞保存会）

嵐 昭夫 議員



Q わかりやすい財政状況の説明を

地方債に大きく頼ることのない財政運営を。また、市の財政状況を幅広い年代にわかりやすく公表すべきである。

A 出前講座の利用を（市長）

地方債は長期間使用される施設等の費用を世代間で公平に負担するものである。財政状況の説明は要請があれば、出前講座で対応したい。

Q 観光名刺で市の魅力発信を

観光名所や特産品を印刷した名

刺により、広く市のアピールを。

A 職員の名刺から情報発信（市長）

市職員の名刺にQRコード（※写真参照）を印刷し、携帯電話を利用した市の観光情報の発信に取り組む。



Q セタにライトダウンを

洞爺湖サミット開幕日の7月7日にライトダウンの実施を。

A 環境問題について考える機会に（市長）

夏至、七夕の両日夜8時から10時までの各家庭での消灯、節電を呼びかけ、市施設でも実践する。ライトダウンやキャンドルナイトが地球環境について真剣に考える場になることを期待する。

居村 清二 議員



Q 諸物価高騰による市民の負担減の対策を

ガソリンや灯油価格の上昇は続き、ガソリン1ℓあたり200円、灯油1ℓあたり150円時代が来るとさえ言われる。食料品など生活必需品の値上げや新たな保険制度による負担増とあいまって、市民生活に多大な影響を与えている。市民生活安定のため、早急に対策を講ずる必要があるが、その考えは。

A 国政レベルでの解決が望まれる(市長)

種々の国際問題を背景にした原油高騰や、国内における国民不在の不毛な議論など、この内憂外患の状態を抜本的に解決するには一



▲市民生活を直撃！ガソリン価格高騰

国だけの政策や市町村の財政力では困難である。生活防衛策として、公共交通機関の利用や循環型社会の生活実践など、自助努力も必要。事業者の方々には各種融資制度や助成制度、市税の分割納付制度等を利用いただき、生活弱者や困窮者の方には相談窓口を強化し、個別に対応していきたい。

一律的な補助制度に関しては、今のところ考えていないが、各市町の対応や今後の状況をみながら真剣に対応したい。

近藤 啓子 議員



Q 子どもの医療費窓口無料化を

「子育てに手厚いまちを選んできたのに、窓口でお金が必要で驚いた」と転入者中心に、医療費の窓口無料化を求める2,400名の署名が集まった。急な受診を可能にし、また申請手続きの簡略化のためにも、窓口無料化を。

A 国・県の指導もあり、現状ではいたし方ない(市長)

国・県ともに現物給付は好ましくないとの方針であり、導入した場合には県補助を交付しないとの見解もある。県下一斉導入には、制度内容の調整等に時間がかかる。財政的にも時間的にも導入は困難かと思う。

中学生までの医療費を無料化し、子育て応援している。多少の不便は受忍いただきたい。

Q 保育士の正規職員採用と労働条件の改善を

正規保育士の数が減る一方で、臨時・パート保育士が大幅に増え、豊かな保育への支障も生まれている。保育園管理上のルールと労働環境改善について見解を示せ。

A 統廃合、保育内容の充実を検討、人員の適正化に努めたい(市長)

保育士の採用枠増大には配慮している。行政経費のスリム化も求められていることから、統廃合による効率化と保育内容の充実、民営化なども検討していきたい。



▲心も体も大きくなーれ！

福田 豊 議員



Q メタボ対策の方針を問う

本年は、メタボ健診元年。健診だけでなく、「健康」を再認識し、生活習慣病の予防に効果的な対策に取り組んではどうか。

A 生活習慣の改善により、リスク軽減（市長）

本年3月に能美市特定健康診査・特定保健指導等実施計画を策定。計画書では、日常生活での身体活動量を増やす工夫やバランスのとれた食生活など、生活習慣の改善を行うことで、生活習慣病の発症リスク低減を目指している。また、ウォーキングマップの活用や食事療法の普及等の対策も進める。

Q 自治体業務効率化のビジョン示せ

地方への権限移譲に伴い、自治体の業務は拡大する一方、行政スリム化の時代。効率化に向けて、今後の展開は。

また、業務効率化のため統合庁舎をめざす考えはあるか。

A 庁内研究を推進していきたい（総務部長）

省力化、効率化として民間経営手法の導入や権限と責任の明確化、庁内横断的な取り組みへの組織構築などを推進していきたい。

庁舎問題については、地域間工夫を除去し、財政状況や時代の潮流に沿った中で何を整理統廃合すべきか、全市的な議論を喚起していく。



▲メタボよさらば！
（内臓脂肪燃焼プログラム）

小手川正明 議員



Q 市の財政予測に問題はないか

将来予測を含め市の財政指標に問題はないか。また市民への財政状況のわかりやすい説明を求め

A 企業立地等に全力を傾注し、財源を確保（市長）

市土地開発公社の工業団地整備事業等の進捗状況によって、将来負担比率が上がる心配もあるが、財源を確保し、企業立地等に対応できるインフラ整備をしていきたい。市民に対する財政指標の公表は他団体も参考に充実させていく。



▲ワンちゃんスツキリ、まちスツキリ☆

Q きれいなまちづくりに向けた取り組みと考え方

ゴミのポイ捨てや犬の糞放置などが後を絶たない。きれいなまちづくりに向けた取り組みと考え方を聞きたい。

A ボランティア精神の育成を図る（環境安全部長）

小中学生への環境学習や親子でのクリーンデー参加によってボランティア精神を育んでほしい。今後協働型まちづくりガイドラインに沿ったボランティア団体の育成も図っていきたい。不法投棄には5年以下の懲役もしくは一千万円以下の罰金が科せられる。

総務常任委員会

委員会における質疑応答

Q 20年度一般会計補正予算の歳入の内訳は。

A 市民や団体からの寄付金である。その趣旨に沿って社会福祉や教育分野で有効に活用させていただく。

Q 公的年金から個人住民税を特別徴収することについては、市民の意見を聞き、十分な周知を。

A 年金受給者には、詳細がわかり次第、制度が十分に理解されるよう周知していく。

意見！ 行政運営について「最小の経費で最大の効果を」という思いを肝に銘じて職務を遂行してほしい。



▲充実した器具で楽しく実験

産業建設常任委員会

委員会における質疑応答

Q 辰口福祉会館周辺に整備中の仮称にぎわい駐車場の完成はいつごろか。またその規模は。

A 8月末に完成予定であるが、若干遅れ気味のため工程のつめを行っている。

規模は、仮称ふれあい温泉建設にあてられた駐車スペースの相当分(約250台)を予定している。

Q 高坂公園の松くい虫対策は。

A 都市計画課と中山間地振興課が連携して伐倒等を行っている。伐倒した樹木を木材チップとして敷きつめるなど、防草対策の実験も試みている。



▲美しい松林を守れ！(松くい虫薬剤噴霧)

教育民生常任委員会

委員会における質疑応答

Q 能美市テレビジョン共同受信施設での受信者減少により地元管理組合が解散したということだが、問題が発生した時の対応はどうなのか。

A 平成23年7月のデジタル化移行までは、電気料金や落雷などの障害を含め地元負担で対応するが、施設の管理責任は市が有する。

Q 以前根上地区と寺井地区に有害図書等の販売機があったが撤去することができた。これらを参考に、行政として辰口地区徳山町地内の自動販売機を撤去できないか。

A 徳山町地内の自販機は設置条件面で条例をクリアしているので撤去は難しいが、引き続き立ち入り調査を行い、有害図書等があれば指導していきたい。

Q 平成19年度の一般会計補正予算での全事業は当初計画どおりに実施されてきたのか。

A 適正な事業の運用・執行に心がけ、査定についても厳しく行っている。決算段階で多少の不用額が出ているが適正な事業執行の結果だと受けとめている。



▲まっすぐな成長を

荒田 正信 議員

健全財政堅持を評価

合併より4年、市長は健全財政の堅持を命題に掲げ、大きな実績を残している。

特に「道路財源特例法案の再議決を求める緊急声明」集会を開催、地方自治体における道路整備計画に必要な財源の中枢を占める道路整備臨時交付金制度の継続に尽力した。

市の道路網整備の充実により、新しいまちづくりの一本化が進む上でも、その決断を評価するものである。

今後市民が主役の市政運営に一層の努力をお願いし、上程された全議案・報告に対し賛成の意を表明する。

請願2号「後期高齢者医療制度の中止・撤回の意見書を国に提出することを求める請願書」については、対象者への説明不足の感否めなが、国民皆保険制度を形骸化させてしまつてから反対する。



青山 利明 議員

後期高齢者医療制度の中止・撤回に反対

後期高齢者医療制度は国民みんなが高齢者の医療費を支える制度である。最近の世論調査でも約6割が支持している。

与党連絡会議で正式決定された運用改善策によれば、低所得者の保険料軽減を7割から9割に拡大、年金からの保険料天引きについても口座振替や世帯主らによる納付の肩代わりを認めている。それでもなお保険料を支払えない方のために、個別の減額も含め、市町村できめ細かく相談できる体制を整えている。

治療費の全額支払いを求められる「資格証明書」の発行に関しても、悪質な滞納者に限られるものである。

新たな高齢者医療制度創設は、与野党の共通認識であった。にもかかわらず、廃止後のビジョンを全く示さず、もとの老人保健制度に戻せといふのは、無責任であり、制度の中止・撤回の意見書を国に提出することを求める請願に反対する。

近藤 啓子 議員

年金からの住民税天引きに反対

能美市条例の一部を改正する条例は、上場株式等の配当・譲渡金の軽減措置の延長等、富裕層に対する優遇措置でしかない。

国民健康保険税や介護保険料に加えて、高齢者の生活の糧である年金から個人住民税を天引きすること、生活不安を拡大させるものである。本来、生活費に課税をすべきではなく、能力にに応じて公平に負担すべきであり、また課税も自主申告が基本である。国民健康保険税条例の一部改正についても、市税条例の一部改正と連動するものであり、反対する。

農村地域や都市開発区域における固定資産税の課税等に関する条例の一部改正については、進出企業あるいは大規模投資が可能な企業に対する優遇であり、反対する。

後期高齢者医療制度は、高齢者の尊厳を踏みにじり、医療差別と耐えがたい負担を強要する。本制度の中止・撤回を求める意見書を国に提出するのことに賛成である。

編集後記



6月に起こった岩手・宮城内陸地震。突然襲ってくる自然災害は人間の英知をもってしても防ぎようがない。最近の地震は規模も大きく数も多い。日ごろからの備えが大切。

新聞では考えられない不条理な事件、犯罪が目につく。無差別殺人、食品の偽装や毒物混入、公務員不祥事、はたまた世界遺産落書き騒動等……。受け継がれてきた「日本の道徳観」に今一度立ち戻る必要がある。

北海道洞爺湖を舞台にしたサミットでは、議長を務める福田首相のもと、世界の重要課題が話し合われた。特に温室効果ガスによる地球温暖化は、深刻なところまで進んでいる。これも豊かな生活を性急に求めた我々の勝手さゆえである。

神からの警告とも思える社会の崩壊や自然破壊。原因は我々人間のなした業と素直に反省し改めたい。

当議会も数多くの課題を抱えるが、まず「人づくり」が大切と痛感。その一翼を担うべく日々まい進したい。

(井出 善昭)

広報特別委員会

委員長：小手川 正明 副委員長：嵐 昭夫 委員：井出 善昭、米田 敏勝、北村 國博